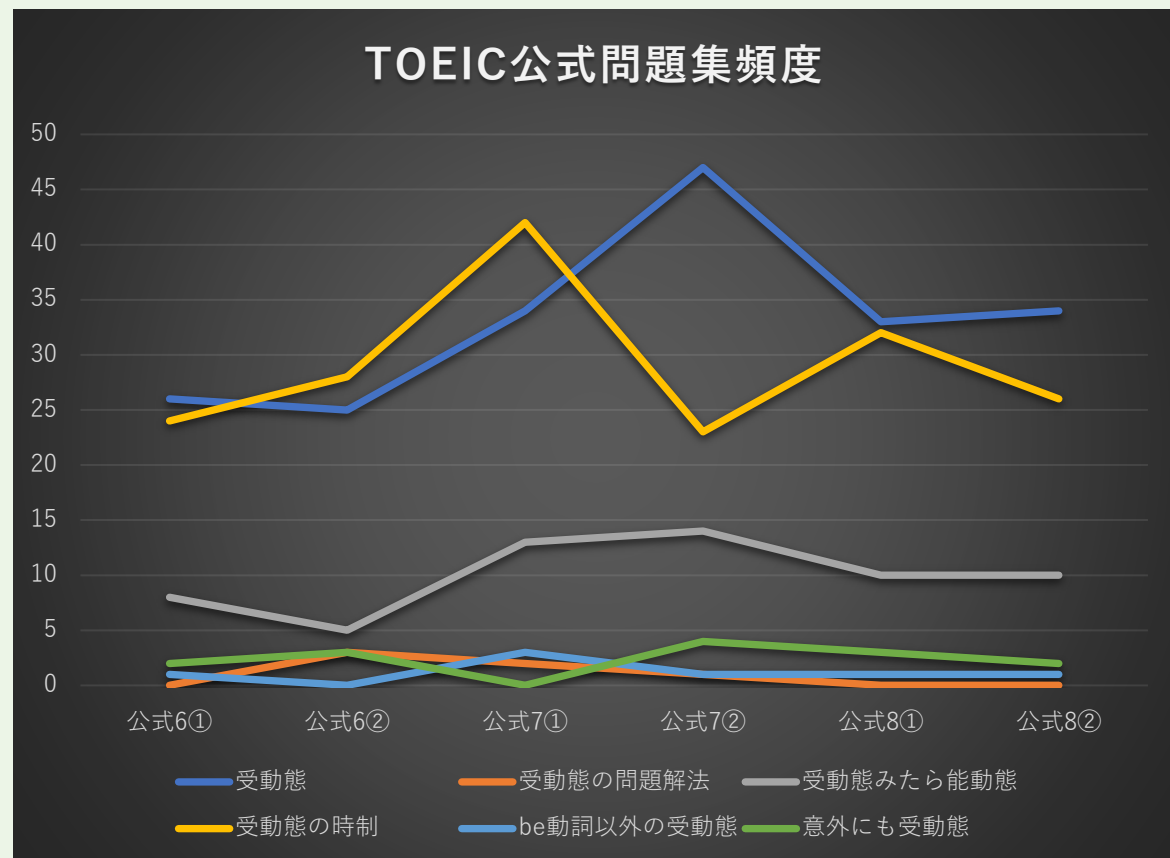




・公式問題集の頻度

	公式6①	公式6②	公式7①	公式7②	公式8①	公式8②
1.受動態	26	25	34	47	33	34
2.受動態の問題解法	0	3	2	1	0	0
3.受動態みたら能動態	8	5	13	14	10	10
4.受動態の時制	24	28	42	23	32	26
5.be動詞以外の受動態	1	0	3	1	1	1
6.意外にも受動態	2	3	0	4	3	2



・解説

1. 受動態自体はそれぞれのPartで頻出します。基本的に受動態自体は中学レベルの話であり、be動詞 + p.p.を見て受動態に気づき、訳せれば問題ありません。ただし、無理して日本語も受動態で訳す必要はなく、これについては「英語で受動態が使われる理由」を理解しておくことでスムーズに訳せる。
2. 受動態の問題解法は受動態に限らず、準動詞のところで扱う過去形と過去分詞の判別で必須の知識。また、Part5.6でもこの知識は大活躍するので、しっかりとマスターしておきたい。
3. 受動態を見たら能動態を意識するというのも、表を見たらわかる通り頻出。もはや、be supposed/asked/required/scheduled to ..など、ほぼ熟語として認識している人も多い。とはいえ、それ以外の動詞が出たときに応用が利くように、この考え方は常に持つ必要がある。
4. 受動態の時制はすべてのPartで頻出する。進行形、完了形、助動詞のすべてが頻出する。
5. be動詞以外の受動態は決して頻出はしないが、ぜひ、おさえておきたい。よく出る、get, become, remain + 過去分詞を見たときに受動態と気づけることが大切。
6. 以外にも受動態は、delay・locate・worryの3つしか出ないといってもよい。
7. 「be動詞以外の受動態」や「原形不定詞を受動態にしたら」や「be made from/into/of」など受験英語で定番のポイントはTOEICではほとんど出てこない。